

おむすび農園 宮崎 美穂さん

Profile

2021年志太ビジネスブラングランプリで金融協会賞を受賞。若くして新規就農した2人が、時には事業のことでケンカをしたり、時には仲良くインターネットラジオでおしゃべりを配信したり、家族で支え合いながら農業を営んでいる。藤枝の中山間地で「無農薬・無化学肥料」で育てた野菜は、素材の味がしっかりと伝わってきて身体にも心にも栄養たっぷり。初めは1人で志した農業が、家族や「有機」でつながる仲間たちと共に取り組む農業になり、繋がりがありがたさを感じながら真摯に取り組んでいる。

しっかり者の母ちゃんと、明るく笑う父ちゃんが「無農薬・無化学肥料」で野菜を育てながら、滝沢の自然と人を結ぶ「おむすび」農園

起業までの道のり

夫も私も農業とは全く違う仕事をしていましたが、栃木県で一緒に農業の研修を受けたのが最初の出会でした。私は中学生の頃から農業に興味があり、親戚の家の田植えや稲刈りを手伝っていました。研修後は地元の茨城県で就農しようと思っていましたが、夫の実家がある藤枝に来ることになりました。当時は事業を始めるという意識もなく、ただ農業がやりたいということしか考えていませんでした。夫の地元だし、農家はだいたい男の人がやっているからというくらいの感覚で、夫が事業主となり2015年に開業届を出しました。

起業で大変だったこと

最初の5年ほどは新規就農者への助成金があり、研修時の助成金も合わせてある程度の運営資金はありました。畑で採れた野菜をセットで売り、自分たちで配送もしました。研修先のやり方をそのまま踏襲していたのです。初めはお客さんを見つけるのに苦労しましたが、オーガニックマーケットのグループに入れてもらい、そこから少しずつ興味のある人に広まっていきました。しかし労働力は2人分。どちらかが動けなくなると1人で作業しなければなりません。40種類ほどの

野菜を育てていましたが、私の方は出産後ほとんど動けなくなり、夫の方も親の面倒をみるなど1年間何もできない大変な時期がありました。全く知らない土地に来てしばらくは何とか過ごしていたものの、妊娠出産などを経て精神的につらくなり、事業が続けられなくなりました。初めてエフドアに相談に行ったのはその頃です。「ふじえだ女性ビジネスアカデミー」に参加したのも、ここでがんばれなければもう終わりだと思い、自分を追い込むためでもありました。私たちは事業を始める前よりも、始めてからの課題の方が大きかったです。2人で頑張ってみようと思いましたが、収入や売り先について具体的な対策ができていませんでした。基礎の基礎からきちんと勉強しなければいけないが「ふじえだ女性ビジネスアカデミー」に参加していました。



起業してよかったこと

エフドアでは「筋道を立て論理的に考えること」「計画を立て物事を進めて行くこと」は、夫より私の方が向いているのではないかと言われました。よくよく考えるとその通りで、「事業主」という役割を夫に任せきりだったのです。しかし性格的に正反対なので、夫の事業のやり方に不満を感じることもありました。2人で話し合い、2021年に私が「事業主」となり再スタートすることを決めました。実際に難しい面もありますが、私自身はやりやすくなったと感じています。夫のやり方を歯がゆく思ったり、とことん意見したりする自分自身も、実は嫌だったのだと思います。「自分でやってみたらどうか」と言ってもらえたことが大きな転機でした。実際に農業を始めて、1人でやる大変さを知りました。今はいろいろな人と繋がりがながら好きな農業をやることができ、誰かに喜んでもらえることがうれしいです。企業で働いていた時には自分の仕事であっても何か他人事に感じていましたが、農業はやればやっただけ自分に返ってくるので、それがやりがいに繋がっています。

これからの夢や目標

本来「つくること」が好きなので、種を蒔いてそれが立派な野菜になるということ自体がとても楽しいです。そしてそれを販売した時に、うれしそうに買ってもらえることがやる気につながります。意見が違えばケンカになりますが、妥協点を見つけるために話し合い、夫がアイデアを出し、私が分析するという役割分担にも慣れました。作物も10種類ほどに減らし、「露地栽培」「無農薬」という良さが活きるものを育てて売りたいです。今後はブランド力をつけて「ヘチマ」と「レンコン」に集中していこうと思います。家族が喘息ぎみなので、昔から効果があると言われているレンコンパウダーを商品化してみたいです。沼地ではなく畑で育てたレンコンは、蒸して少し塩をかけただけでとても美味しく食べられます。地域の料理教室でも使ってもらい好評でした。農業体験もやりたいことの一つですが、レンコンの上手な掘り方をまだ自分たちが研究している最中なので、売り方も含めこれからの課題です。ま



たヘチマは夏の間は食用の野菜として、秋には化粧水として使えるヘチマ水やヘチマスポンジを作って販売しています。イベントでは、このヘチマ水を気に入ってリピーターになってくれた人もいます。採取の方法にもコツがあって、失敗の原因を考えて工夫することとても勉強になります。

エフドアをこれから利用する人に

事業がうまくいかなかったとき、家族だけで解決しようとしていたので外に意見を求めたのはエフドアが初めてでした。いろいろアドバイスをもらいセミナーにも参加して、少し視野が広がりました。それをきっかけに、他のところにも広く意見を求められるようになりました。そういうコミュニケーションが個人事業主になると難しくなり、堂々巡りになってしまうので、やはりエフドアみたいな場所があるとすごくありがたいです。

おむすび農園

住 藤枝市滝沢

Facebook

<https://www.facebook.com/omusubinouen/>

Instagram

https://www.instagram.com/omusubi_nouen/



Facebook ▶



Instagram ▶